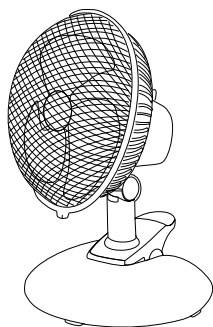


卓上・クリップ扇風機

型番 NFW18-C22

家庭用

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY



もくじ

◎「設計標準使用期間」について	1
◎安全上のご注意	2～3
◎各部の名称	4
◎使いかた	4～5
◎お手入れの方法	6
◎故障かな?と思ったら	6
◎製品仕様	7
●製品の廃棄について	
◎保証規定	巻末
●アフターサービスについて	
●ご注意	
●保証書	

●このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に重要な安全に関する記載がされている本書を必ずお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。「保証書」は大切に保管してください。

付属品



取扱説明書 /
保証書



スタンドベース

「設計標準使用期間」について

「設計標準使用期間」とは、製造年（月）を始期とし、使用環境、使用条件及び使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による発火・けがなどにより安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間（年数で表す）です。



〔製造年〕 2022年

「設計標準使用期間」 約5年（5000 時間）

設計標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがありますのでご注意ください。

注1）設計標準使用期間は保証期間ではありません。

注2）設計標準使用期間の明確な定義については、経済産業省から出される省令に規定されます。

注3）本内容は、今後の審議によって変わる可能性があります。

標準使用条件

日本工業規格 JIS C9921-1 及び
(社) 日本電機工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	100 V	製品の定格電圧による
	周波数	50 Hz及び／ 又は60 Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	製品の取扱説明書・据付説明書による
負荷条件		定格負荷 (風速)	製品の取扱説明書による
想定時間など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ 操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

注記 表の温度30℃、湿度65%は、JIS C 9601の試験状態を参考としている。

安全上のご注意

ご使用になる前に次の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載しております。お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。

※ 誤った使い方による危険や損害の程度を区分してご案内いたします。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

	改造しない。また、修理技術者以外の人は分解しない。 ● 火災、感電、けがの原因になります。 ● 異常、故障時にはすぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社のサービスセンターにご相談ください。		羽根・ガードを付けずに運転しない。 ● けがや事故の原因になります。
			コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流 100V 以外では使わない。 ● 火災、感電の原因になります。
	電源コードは傷んだまま使用しない。コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟みこんだり、加工したりしない。 ● コード内部の芯線を傷め、ショートによる発熱、発火や感電の原因になります。		電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む。 ● 感電、ショート、発火の原因になります。
			電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは使わない。 ● 感電、ショート、発火の原因になります。
	電源プラグを抜くときはコードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。 ● コード内部の芯線を傷め、ショートによる発熱、発火や感電の原因になります。		本体を水に浸けたり、水をかけたりしない。水のかかる場所に設置しない。 ● ショート、感電やけがの原因になります。
	ぬれた手で触らない。 ● ぬれた手で本機を操作したり、電源プラグを触らないでください。感電やショートの原因になります。		お手入れの時は本体の電源を切り、動作停止後に電源プラグを抜いてから行う。 ● 感電、不意な作動によるけがの原因になります。
	電源プラグの汚れやほこりは定期的に取り除く。 ● 付着したほこりが水分を含むことで絶縁不良がおこり、火災の原因になります。		本体のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使わない。 ● プラスチックが洗剤に反応し有毒ガスが発生、健康を害する原因になります。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

	本体すき間から指を入れたりピンや針金などの異物を入れない。 ● 感電やけがなどの原因になります。		使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ● 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。
	本体にタオルなどをかぶせて使用しない ● 熱がこもり、発火や火災、本体の変形や変色の原因になります。		風を長時間身体に当てない。 ● 健康を害する原因になります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
	メーカー純正部品以外は使用しない。 ● 火災、ショート、けが、異常動作の原因になります。		
	子どもなど取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない。 ● けがや感電の原因になります。		包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する。 ● 誤ってかぶったり、体に巻きついたりして窒息、死亡の原因になります。

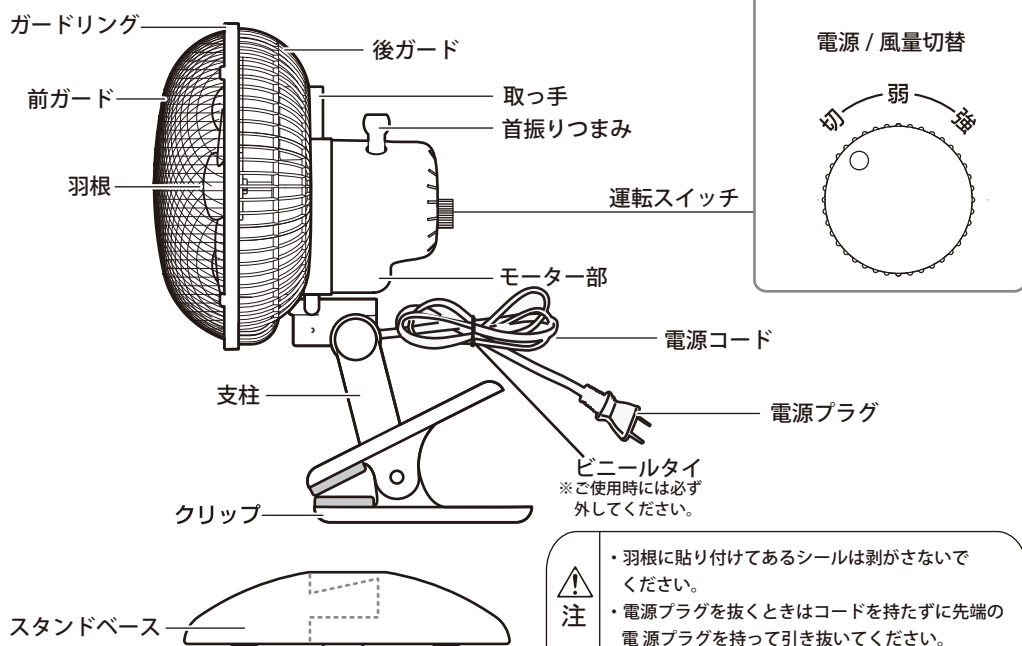


注意

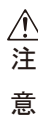
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、障害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

	次のような場所には置かない・使わない。 ・ 火気、発熱器具などの近く ・ 引火性のガス、油類、薬品などがあるところ ・ 雨や水しぶきのかかるところ ・ ホコリや金属粉の多いところ ・ 高温、多湿や低温になるところ ・ 直射日光、強い紫外線のあたるところ ● 本体の変形、変色や感電、火災の原因になります。		不安定な場所や強度の低い場所に設置したり、カーテンなどの障害物の近くでは使用しない。 ● 不安定な場所や首振りをさまたげる障害物があると落下、転倒したり、羽根がカーテンなどを吸い込んだりして破損や事故の原因になります。
	スプレー（殺虫剤、整髪料など）をかけない。 ● 樹脂や塗装部分の変質したり、破損する原因になります。		シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かない。 ● 樹脂や塗装部分の変色、変質による破損の原因になります。
	ガードに髪などを近付けない。 ● 巻き込みによるけがの原因になります。		お手入れの際は食器洗い乾燥機・食器乾燥機を使わない。 ● 樹脂が変形したり、破損する原因になります。
	羽根に貼ってあるシールは絶対に剥がさない。 ● 事故防止のために貼られた表示です。剥がしてしまうと異音、振動、けがの原因になります。		倒したり、落したり、ぶつけたり、強い衝撃を加えたりしない。 ● 感電・けが・故障・破損の原因になります。
	運転中は持ち運ばない。 ● けがの原因になります。		本製品は家庭専用です。 ● 業務用途としての使用はしないでください。

各部の名称



※イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。



注意

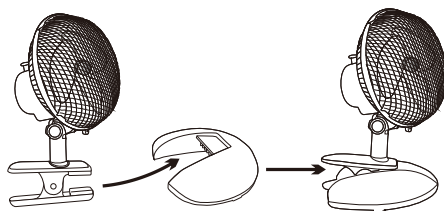
- ・羽根に貼り付けてあるシールは剥がさないでください。
- ・電源プラグを抜くときはコードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- ・電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。

使いかた

1. スタンドベースかクリップを使って使用する場所に設置する。

① スタンドベースを使用する場合

付属のスタンドベース中央の凸部クリップを挟み込みます。



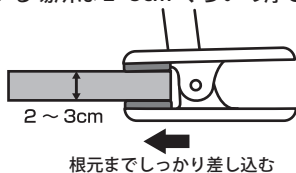
注意

- ・スタンドベースを使用する場合は安定した水平な場所に設置する。
- クリップは大変強いバネになっているため落下などけがの原因になります。
- ・安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。

使いかた

②クリップを使用する場合

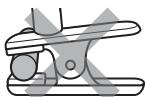
クリップでお好みのところに取り付けて固定します。
固定する場所は2~3cm くらいの厚さが必要です。



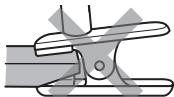
⚠
注意

- ・クリップは根元までしっかり差し込み、外れたり、落下しないかを確認した上でご使用ください。
- 差し込みかたが浅いと不安定になり、本体が落下しやすく大変危険です。
- ・安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- ・指を挟まないように気をつけてください。

●以下のような場所には取り付けないでください。



取付部分が円柱



取付部分が斜面



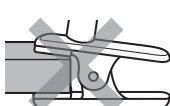
先のほうしかつかめない



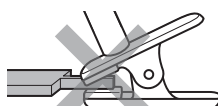
取付部分が動きやすい
(または不安定)



取付部分が薄すぎ



取付部分が厚すぎ



くわえ込む面積が少ない

2. 電源プラグをコンセントに差し込む。

3. 運転スイッチを時計回りに回して電源を入れる。

スイッチはお好みにより「弱」か「強」に回します。



⚠
注意

- ・電源プラグはコンセントに根元までしっかり差し込む。
- ・運転スイッチは必ず「切」にした状態で電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ・電源コードをスタンドベースで踏んだり、クリップで挟み込んだ状態で使用しないでください。電源コードは必ず横に逃してください。

4. 風向き調整のしかた

①首振り運転

首振りつまみを押すと左右に首を振り始め、引くと首振りが停止します。

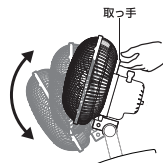


③左右の風向調整 (約 80 度)

運転を停止させた状態で支柱を中心に回転させてください。

②上下の風向調節 (約 50 度)

運転を停止させた状態で取っ手を持って上下に動かします。



⚠
注意

- ・風向調節の際は破損の恐れがありますので無理な力を加えないでください。
- ・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
- 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

5. 使い終わったら運転スイッチを反時計回り

「切」まで回して電源を切る。

お手入れの方法

1. スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体とスタンドベースの汚れは 40℃以下のぬるま湯に浸したふきんをかたくしぼって拭く。
前ガードと羽根は外してお手入れすることができます。
外し方：①ガードリングのツメを外側へ押し、ガードを外す。
ポイント：正面右下のツメから外すと外しやすい。



- ②羽根の中心部を持ち、モーターと反対側に引っ張り、羽根を外す

3. お手入れ後にはガードと羽根を確実に取り付けてからポリ袋にいれ、湿気が少ないところに保管する。

※未永くお使いいただくためにシーズン終了時にはお手入れを行ってください。

注意

- ・シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かない。
- 樹脂や塗装部分の変色、変質による破損の原因になります。
- ・お手入れの際は食器洗い乾燥機・食器乾燥機を使わない。
- 樹脂が変形したり、破損する原因になります。

故障かな？と思ったら

異常が生じたときは、次の点をお調べになってからお買い上げの販売店または弊社のサービスセンターにご相談してください。

こんなとき

おたしかめください

スイッチを切り替えても作動しない。

- 電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？
⇒ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- 羽根とガードが当たっていませんか？
⇒ 羽根とガードはしっかり取り付けてください。

羽根は回るが異常音をする。

- 羽根は、確実に取り付けられていますか？
⇒ 羽根はしっかり取り付けてください。
- ガードは、確実に取り付けられていますか？
⇒ ガードはしっかり取り付けてください。
- 羽根とガードが当たっていませんか？
⇒ 羽根とガードはしっかり取り付けてください。

長年ご使用の扇風機はよく点検を

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

愛情点検



こんな症状はありませんか



- ★スイッチを入れても羽根が回らない。



- ★羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則。



- ★回転するときに異常な音をする。



- ★モーター部分が異常に熱かったりコゲくさいにおいがする。



異常があれば
ご使用中止!!
発煙・発火の恐れがあります。
すぐに電源プラグを抜いてください。弊社サービスセンターにご連絡ください。

製品仕様

定 格 電 圧	100V		首 振 り 角 度	80°
定 格 周 波 数	50Hz	60Hz	重 量	約 1.3kg
定 格 消 費 電 力	28W	25W	電源コードの長さ	約 1.4m
回 転 数	2050r/min	1800r/min	外 形 寸 法	
最 大 風 速	100m/min	99m/min	幅 226×奥行 277×高さ333mm	
最 大 風 量	19m³/min	18m³/min		

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

製品の廃棄について

●廃棄の際は各地方自治体の条例などの定めに従って廃棄してください。